

ヒメシャガ*Iris gracilipes* A. Grayアヤメ科
Iridaceae**カテゴリー**大分県 情報不足
環境庁 準

選定理由

県内分布 (英彦山・犬ヶ岳山地)

分布域 本州(近畿以東) 四国 九州(福岡・大分)

生育環境

現 状 「英彦山・犬ヶ岳山地」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。

備 考 国定公園指定植物 [耶馬日田英彦山]

カキツバタ*Iris laevigata* Fisch.アヤメ科
Iridaceae**カテゴリー**大分県 IB
環境庁 II

選定理由 九州では北部地方、本県では北西部地域に偏在し、生育地、個体数とも僅少。池畔の改変や植生の遷移で消滅する生育地があり、人による採取もあって、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布 中津・宇佐低地、日田低地・丘陵地、玖珠丘陵地・山地

分布域 北海道 本州 四国 九州(福岡・長崎・大分)
朝鮮半島 中国(東北部) 東シベリア アムール ウスリー オホーツク

生育環境 低地や丘陵地の池沼、水湿地。

現 状 生育地の周辺部が開発され、水環境の変化や水生植物との競合で生育状態が悪化した所がある。

備 考 北方寒冷地要素の植物。

エヒメアヤメ*Iris rossii* Bakerアヤメ科
Iridaceae**カテゴリー**大分県 IB
環境庁 IB

選定理由 九州は分布の南限域。県内では主に火山性高原の草原や林縁に生育する。植林や草地改良、野焼きの停止などによる森林化で生育地が縮小し、人による採取もあって、絶滅の危険性が高い。

県内分布 国東地区、九重火山群、由布・鶴見火山群、別府湾沿岸域

分布域 本州(中部地方西部) 四国 九州(佐賀・大分・宮崎)
朝鮮半島 中国(北部・東北部)

生育環境 低地から山地の、主として火山性高原の草原や林縁。

現 状 植林や草地改良、土地の改変及び野焼きの中止による森林化、盗掘などにより個体数は激減している。

備 考 大陸系遺存植物。九州は、分布の南限域にあたる。杵築市狩宿はその自生南限地として1925年に国指定天然記念物となったが、指定地では絶滅して1971年に指定解除された。国立公園指定植物 [阿蘇くじゅう、瀬戸内海]